

会 議 録

会議等の名称	第3回東御市スポーツ推進審議会	開催日時	平成30年11月30日(金) 午後1時30分～ 午後3時10分
		場 所	東御市役所本館2階全員協議会室
主催者(事務局)	企画振興部 文化・スポーツ振興室	司会者	横田匡俊会長
出席者	<p>[委員]</p> <p>会長:横田匡俊</p> <p>職務代理者:依田恵子</p> <p>神津志保美、唐澤光章、木下智宏、篠原博文、関口順子、関豊春、中堀雅夫</p> <p>[庁内関係課]</p> <p>健康保健課長 小松信子、商工観光課長代理 清水悟、教育課長 柳澤秀夫</p> <p>[事務局]</p> <p>企画振興部長 岩下正浩、文化・スポーツ振興室長 勝山修、文化・スポーツ振興係長 中村昌彦、 文化・スポーツ振興係 小林靖宗、文化・スポーツ振興係事務担当 荒井宗武、 文化・スポーツ振興係(地域おこし協力隊) 上藺美千代</p>		
欠席者	<p>[委員] 岡田真平、小野山洋身、早川一夫、廣田美和子、三溝和子、武田順子</p> <p>[アドバイザー] 筑波大学教授 柳沢和雄</p> <p>[オブザーバー] (公財)笹川スポーツ財団 小淵和也</p> <p>[庁内関係課] 企画振興課長 山田正仁、福祉課長 吉澤健二、生涯学習課長 横関政史</p>		
議題等の内容	<ul style="list-style-type: none"> 東御市スポーツ推進計画(素案)について 		
決定事項 (要点を箇条書き)			
次回への検討事項	指摘内容を検討し、計画(案)へ反映		

討議内容及び経過	発言者名	発言内容（要点のみ記載）
1 開会	職務代理者	あいさつ
2 会長あいさつ	会長	会長あいさつ 先日、BS朝日で湯の丸高原が特集され、視聴者も良い印象を持たれたのではないかと。益々注目度が上がってくるのではないかと。この計画でも魅力を活かしてまとめていきたい。
3 報告事項	事務局	「スケジュールの確認」について（スポーツ推進計画策定全体スケジュールを基に説明）
4 審議事項	会長	事務局からの説明を求める。
	事務局	（配布資料確認の後、委員等の意見反映による訂正箇所一覧を説明）
	会長	基本目標1と2、それに紐づく施策、素案の記載内容も含めてご意見を。
	委員	小学校5年生、中学校2年生の体力合計点について、35年の数値目標が県の平均以上は引かかる。東御独自の数値の方が良いのではないかと。目標値の裏付けはあるのか。
	事務局	成人のスポーツ実施率65%は国、県に準拠した数値。チャレンジデー参加率63%は事務局が掲げている目標値としている。60歳以上のスポーツ実施率70%の根拠は難しい。
	委員	60歳以上のスポーツ実施率を70%にするなら、成人のスポーツ実施率を66%（3人に2人）にしたらどうか。
	会長	施策の展開により、どの程度増えたからどうだという説明が出来る事は重要。
	委員	成人のスポーツ実施率について、数値目標を挙げているが、成人に対する施策としてフォローが弱い。
	委員	基本目標2「誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実」全体に対して、健康福祉部の力も結集するべき。各地区の分館で事業をしているが、地域住民の盛り上がる力が必要。 幼保小中の施策が強く、20～40代成人（働き盛り世代）に対しての施策がない。地域を盛り上げるためにはこの世代が元気であることが大切。
	委員	学校での障がい者スポーツが抜けている。見る、支えるだけでなく、するスポーツの取り組みも入れて欲しい。施設のバリアフリーも入れて欲しい。
	事務局	学校での障がい者スポーツは、別の施策において記載している。
	委員	小中学校の学校施設は、それぞれの学校で管理をしているが、利用者が予約しにくいので、インターネット等で閲覧、予約が出来る仕組みで利便性が上がる。 小中学生の運動実施率は、嫌いな理由が分かれば具体的な策を打てるのでは。
	委員	スポーツ振興を図るには、市民の支持がないと事業が進まない。皆さんがスムーズに理解できる表現で訴えていく事が大切。柔軟に皆さんが何を望んでいるか考えた方が良い。
	会長	市民の皆さんにご理解頂く事は大切で広報や周知で触れていけば良いのでは。
	委員	競技スポーツ人口の拡大と競技力の向上の施策に「少年団・運動部活動等からステップアップする個人・団体へのサポート」があるが、中学生期へ盛り込んだ方が見やすい。
	会長	双方に触れる施策なので、漏れが無い様に両方に記載してあっても良い。
	委員	以前に比べ全体的には見やすく、分かりやすくなっているが、図はもう少し大きくしてイラストをいれると柔らかくなく。
	事務局	最終的なレイアウトは今後行うが、内容に沿う写真を挿入する予定。
	委員	施策の推進体制と役割において、連携・協働体制が図示されているが、健康福祉、公民館、社会教育が大事ではないかと。抜けているのでは。
	委員	情報発信については公民館（地元）をもっと活用したら良いのではないかと。
委員	青壮年から中高年に向けて、どう参加できるのか。この層が大切だと思う。	
会長	働く世代のスポーツ実施率の低さは東御市だけではなく、全国的な問題。朝活、企業などを活用してはどうか。	

討議内容及び経過	発言者名	発言内容（要点のみ記載）
4 審議事項(続き)	委員	<p>施策の推進体制と役割として、計画の実現を担う企業が社員の実施を推奨していく事を追加していけば分かりやすい。</p> <p>人材バンクについて、県のスポーツ課も取り組んでいるが、競技団体の代表者を紹介されるだけで機能していない。多岐にわたるので、競技団体の協会に投げかけて素案を作ってもらい、最後を取りまとめを市がきちんとすれば、上手く進んでいくのではないかと。</p>
	会長	作成しただけで稼働していない人材バンクは沢山ある。マッチングまで手をかける必要がある。運用を含めて検討が必要になる。
	委員	基本目標1の生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成について、未就学児は親が大切。小学校は、特別な指導者ではなく、担任の先生の意欲が大切。
	委員	計画の実現に向けた連携・協働体制の図中に大学を入れるべき。高みを目指すうえでは必要である。
	委員	10年後の目指す姿は何を指しているのか。
	事務局	10年後のあるべき姿に向けての5年間の取り組みがこの計画。副題が10年後の目指す姿となっている。
	会長	5年経つと世の中の状況も変わってくるので、5年後にもう一度10年後に向けた計画を見直すという位置づけと認識している。
	委員	推進計画を策定した際の情報共有の方法は。
	事務局	広報、ホームページによる公表。各戸には概要版で配布をする予定。概要版は最低限の内容で作成したい。
	(2) その他	会長
5 その他	事務局	<p>[事務局から連絡事項]</p> <p>パブリックコメントに向けて、今回、指摘頂いたものをまとめる。追記事項があれば12月7日までに連絡をお願いしたい。その後、事務局が原案を作成し、会長に確認頂く。</p> <p>一任頂きたい。</p>
	事務局	閉会に移ります。
6 閉会	職務代理者	あいさつ